



# 海南東ロータリークラブ

## ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

### 第 1733 回例会

平成 25 年 1 月 28 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

#### 1. 開会点鐘

- 2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
- 3. ゲスト紹介 角谷 勝司 様
- 4. ビジター紹介 和歌山南 RC 前窪 貴志 様  
和歌山北 RC 初田 隆生 様
- 5. 出席報告

会員総数 53 名 出席者数 35 名  
出席率 66.04% 前回修正出席率 79.25%

#### 6. 会長スピーチ

会長 花田 宗弘 君



- 先週 25 日に会長経験者会議があり、13 名の方に出席頂き、今後の会の運営につき多くの貴重な意見を頂きました。概略を報告いたします。理事会で協議の上、即刻実施したいと思います。
- ・E クラブにつき、現在 2640 地区に二つの E クラブがあり、各クラブ共、会員増強に苦労している中、会員が急速に増え続けていますが、従来のクラブと比べて活動内容が良く分からぬところが多いので、一度、会長に卓話を来て頂いて話を聞かせてもらいたい。
  - ・例会時には貴重な時間を割いて出て来てもらっているのですから、出来るだけ多くの会員に話してもらえるよう、少なくとも夜間例会には全員に話す機会を与えてはどうか。
  - ・例会時には卓話を聞くだけでなく、もっとクラブとしてどのような奉仕活動をするかの話し合いの場としたい。
  - ・新しい会員に早くロータリーの知識を習得してもらうため、ベテラン会員の隣に座ってもらうことにしては。
  - ・「ロータリーの友」の読後感を話し合う機会を設けたい。
  - ・I DMは、少人数でじっくり話し合う良い機会なので回数を増やしてはどうか。半期 2 回、年 4 回。今

期はあと 2 回、2 月と 5 月、1 回は年齢別、2 回目は混合グループとしたい。

- ・クラブ活動計画書は、前年度に各委員会の予定者会議を持ち合意の上で作成するようにしたい。
  - ・次年度から始まる財団の夢計画の参画は、1 クラブだけでは負担が大きいので、協力クラブに働きかけ共同で実施できる案を作成し、今年度中に申請手続きを取りたい。
- 机の上に今回、フィリピンに持参する日本紹介の本を置いていますので見て下さい。

#### 7. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

- |          |   |
|----------|---|
| 橋本紀ノ川 RC | 1月 29 日(火)→1月 27 日(日)<br>ラミ ダンファンス アラメゾン<br>(新年親睦家族例会)          |
| 和歌山東南 RC | 2月 20 日(水)→2月 22 日(金)<br>18:30~ ダイワロイネット H<br>(和歌山南 RC との合同例会)  |
| 和歌山南 RC  | 2月 22 日(金)→2月 22 日(金)<br>18:30~ ダイワロイネット H<br>(和歌山東南 RC との合同例会) |

○休会のお知らせ

- |       |            |
|-------|------------|
| 海南 RC | 1月 30 日(水) |
| 新宮 RC | 2月 6 日(水)  |

○2月のロータリーレート

1 \$ = 8 8 円

#### 8. 委員会報告

○ロータリー情報規定委員会 委員長 宇恵 弘純 君

I DMを 2 月に開催します。テーマは①楽しい例会づくりについて②例会出席の服装について(私服:今までどおりで良いか)③新入会員の例会時の席について(1年未満)④増強・退会防止(特に新入会員)⑤その他です。各組のリーダーの方は日程調整をお願いします。

○国際奉仕委員会

WCSの視察を 3 月 14 日(木)~17 日(日)に計画しています。ご参加いただける方は、是非、よろしくお願いします。

**1月はロータリー理解推進月間です**

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 花田 宗弘 幹事: 中西 秀文 SAA: 那須 正志



- 言い訳を ぐつと飲み込み まず反省
  - やったるで！ 熱い思いが 元気の素
  - あきらめない！ 強い気持ちが窮地を救う
  - 型破り 誰もやらない ことをやれ
  - 古いものためこんでみても邪魔なだけ
  - 我を張って 共生できずに 自滅する
  - ラクすれば 老後が来てもラクできず
  - 身の丈の 暮らしが自分に 味方する
  - 人生は 生き方次第で 変化する

## 10. 閉会点鐘

次回例会

第 1733 回例会 25 年 2 月 4 日(月)

海南商工会議所 4 F 18:30~

夜間例会 お誕生日・結婚記念日お祝い



ニコニコ・BOX

吉田 昌生君

角谷さん、卓話ありがとうございます。和歌山県の観光ホームページのかやま古事記、日本書紀の旅を監修しました。一度ご覧下さい。

花田 宗弘君  
中西 秀文君  
岸 友子君

角谷さん、卓話有難うございます。  
角谷さん、卓話有難うございます。  
角谷さん。本日は卓話有難うござ  
います。

## 2月プログラム

(世界理解月間)

4日(月) 18:30~ 夜間例会

お誕生日 結婚記念日お祝い

11日（月・建国記念日）休会

18日（月）12:30～ ゲスト卓話

## 青少年交換留学生 中野 華子 様

25日（月）12:30～ ゲスト卓話

地区国際奉仕委員長 山本 唯二 様

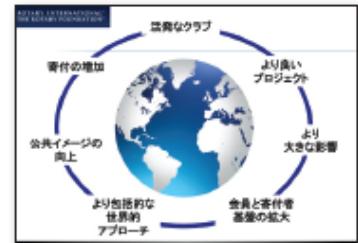


# 国際ロータリー ニュース

## ロータリー財団の未来の夢計画

未来の夢計画は、ロータリー財団のイニシアチブとして進められておりますが、実際は、ロータリーの戦略的イニシアチブとして、大変重要なものです。戦略的な優先事項を通じ、私たちはロータリーの長い歴史を基礎とし、現在、未来のロータリアン、寄付見込者、私たちが奉仕する地域と受益者のニーズをしっかりと捉えていきます。リーダーと未来の夢委員会は、この未来の夢計画がこのような意図した結果をもたらせるよう、計画の成功のために尽力しています。

未来の夢計画は、多くの望ましい結果をもたらすと



値を大きく評価するようになったということです。その一方で職員は書類の処理に大変な時間を費やすこととなり、財団の成功の犠牲者となってしまったというわけです。そこで、当時のカルロ・ラビッツァ管理委員長が、会計・コンサルティングを専門とする KPMG 社に委託して、人道的プログラムの調査を実施することにしました。この調査の結果、管理委員会は現行のモデルでは長期的な成功が望めないという結論に至りました。これが、未来の夢計画を始める大きな契機となったのです。KPMG 社による調査報告では、以下のような重要な事柄が浮き彫りになりました。

- 財団は、承認した補助金1件につき、約1,500ドルの経費を費やしています。つまり、小額の補助金の処理にかかる費用が、補助金額を上回っています。これを受け、管理委員会は、業務経費の見直しを図ることの必要性を認識しました。

2. 財団が最も重要としている奉仕活動に戦略的な焦点を当てる必要があることが明らかとなりました。管理委員会は、寄付をするロータリアンに納得してもらえる活動を実施しつつも、地域にもっと大きな影響を与える活動を行う必要性があることを認識しました。財団は、焦点をさらに明確にしたアプローチを取らなければならぬ時期に来ていました。調査の結果を受け、管理委員会は財団の補助金モデルを体系的に見直し、財団の将来を真剣に考え始めました。財団プログラムの戦略的分析も含まれていました。管理委員会と未来の夢委員会は、すべてのプログラムと奉仕プロジェクトの見直しを行い、どのような分野が重要であるかを見極める作業を行いました。プログラムの評価やアンケートをお願いし、その結果を基に財団は、未来の夢の最優先事項と 6 つの重点分野を決定しました。その後これらのコンセプトは RI 理事会および規定審議会によって承認・支持されました。未来の夢を成功させるために、ぜひ皆さまのご協力をお願いいたします。変化の必要性、そして、未来の夢が財団の将来に

とって好ましい結果を生むということを説明いただきたいと思います。これはロータリーにとって大きな変革です。それに伴い不安感が生じていることも十分認識しております。この未来の夢に伴う変化は、ロータリーにとって長期的な恩恵と発展をもたらすものであると確信しています。

未来の夢は現在、試験段階にあります。試験地区の方々に聞けば、素晴らしい成功談を教えてくれるでしょう。また、試験段階に参加していない地区に対しては、未来の夢について一貫した情報とリソースを提供する必要があります。

そして皆さまには、クラブや地区において、未来の夢の力強い支援者となっていただきたいと思います。未来の夢に伴う変化のすべてにご賛同いただけない部分もあるかと思いますが、この変化によつてもたらされるプラス面について、一貫したメッセージを発信していただけますようお願いいたします。現在、ロータリーのプロジェクトの大半が、クラブや地区によって、財団からの補助金を受けずに実施されています。ロータリー財団が活動に授与する金額は、年間1億ドルのみであり、これは数多くのロータリアンの活動から見たら、氷山の一角にすぎません。何千もの地元・海外におけるプロジェクトは、財団からの補助金を受けずに実施されています。すべてのプロジェクトの価値は、年間で、少なくとも総額5億ドルから10億ドルに上ると推定されています。管理委員会は、財団の限られた資金を、大きな影響を与えられ、長期的で測定可能な結果をもたらすプロジェクトに利用すべきだと考えました。

計画段階初期で、財団はさまざまなアンケート調査、研究、分析を実施しました。この作業を通じ、2007年、「80 対 20 コンセプト」が誕生しました。従来のプログラムでは、財団の年次プログラム基金のうち（ポリオを除く）、長期的に大きな影響をもたらす活動に充てられた資金は 20%のみだったのに対し、80%が比較的短期で影響の少ないプロジェクトに充てられていたことが分かりました。このコンセプトにおける目標は、20%と 80%の割合を逆転させ、基金の 80%を長期的により影響力の大きなプロジェクトに充当する、というものです。このコンセプトの下、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の資金モデルが採用されました。また、財団はロータリアンに対し、「財団の 100 周年を迎える 2017 年に、財団はどのような姿になっているべきか」という質問も投げかけました。未来の夢計画を進める上で重要となった答えを以下のとおりです。

・ポリオのない世界、ポリオのないロータリーが実現。これにより、ロータリーが世界的偉業を達成したとして認識される一方、ポリオ・プラス補助金のように手続きがシンプルで、かつ高額の補助金がなくなるため、寄付に影響が及ぶ可能性がある。

・戦略パートナーとの協力を含む、より焦点を絞った重要な奉仕活動の展開。

・寄付者基盤が成長することによる寄付の増加。

・補助金申請の手続きの簡素化と、申請から補助金授与までの時間の短縮。

財団は、以下の 5 つの優先事項を達成するための新しいモデルを試験し、評価しています。

・プログラムと手続きの簡素化

・ロータリアンによる奉仕活動の重点化

・地元や海外での奉仕活動の支援

・地区により大きな決定権

・特に 6 つの重点分野におけるロータリーの公共イメージの向上

ロータリアンのニーズと期待に応えるこのイニシアチブは、多くの関係者の協力によって前進してきました。皆さまの中にも、準備・開始段階から積極的に参加されている方がいらっしゃると思います。現在、3 年間の試験段階の 2 年目が終了しようとしていますが、今後の成功には皆さまからの協力が不可欠となります。未来の夢計画の試験段階において、財団はまず、ロータリアンの全体的な満足度を調べています。これには、財団の活動に対するロータリアン個人の参加度、クラブや地区の参加度、寄付に加え、ロータリアン全般、寄付者、補助金受領者、受益者の満足度が含まれます。次に、財団はプロジェクトの質と、6 つの重点分野との関連性を評価しています。これにより、地域に確実に恩恵がもたらされているか、プロジェクトが持続可能なものであるかを確認します。3 つ目に、手続き期間の短縮が図られているかについて、補助金の申請から支給までの時間が、意図した時間内に収まっているかを確認しています。試験段階中、手続きを簡素化し、補助金管理のソフトウェアを導入することによって、財団がどれだけ迅速に申請を処理できるかを詳しく調査しています。4 つ目に、非営利団体の評価を専門とする第三者の機関に依頼し、財団運営上の効率を調査しています。財団は、会員、寄付者、協力団体に対して好ましいメッセージを発信し、常に高い評価を受ける奉仕団体として認識されるよう尽力していきます。最後に、適切な資金管理です。未来の夢を成功に導くには、財団の持つ資産を維持するための適切な資金管理が必要となります。財団のリーダーは、補助金管理において、その目標を達成するために、適切な資金管理方法を導入していきます。皆さまのご尽力に心から御礼申し上げます。財団管理委員会より、未来の夢の全地区移行に向けて、引き続き皆さまのご協力とご支援をお願い申し上げます。

